



誰もが口ずさんだ名曲たち



1月28日、える夢館で北海道歌旅座による『昭和ノスタルジアコンサート』が行われました。

北海道歌旅座は、歌とピアノのJUNCO、ヴァイオリンの高杉奈梨子、コーラスのザ・サーモンズの7人による音楽グループで、札幌を拠点に活動し、全国各地を行脚しています。

当日は、5年前に豊頃を訪れたのをきっかけに作曲し、全国各地で歌ってきたという『ハルニレの詩』などのオリジナルソングや、誰もが思わず口ずさみたくなるような昭和のヒットソングなどを演奏し、訪れた観客を大いに楽しませていました。

大谷短大『劇団木蓮』が公演



2月5日、える夢館で平成27年度幼児芸術鑑賞会『劇団木蓮』演劇発表会が行われました。

劇団木蓮は、大谷短期大学地域教養学科の2年生からなる劇団です。

当日は茂岩保育所と大津保育所の幼児約70人とその父母らが訪れ、スリランカの童話を基にした『きつねのホイテイ』と『わらしべ長者』をアレンジした『金貨富留十勝長者』が上演されたほか、動物の形をしたバルーンのプレゼントが行われ、訪れた幼児たちは笑顔で公演を楽しみました。



牛首別農事組合が排雪奉仕



1月29日、牛首別農事組合（松崎直弘組合長）の組合員15人が、町内14カ所で公共施設敷地内に積まれた雪を取り除く（排雪作業）ボランティアを行いました。

タイヤショベル7台、ダンプ8台、バックホウ1台を持ち寄り、午前8時30分から午後3時過ぎまで行われた排雪作業は、主に役場前駐車場やえる夢館駐車場、消防署といった公共施設を中心に行われ、約280台分（約2,300立方メートル）の雪を運びました。

このボランティア活動は、平成19年から9年連続行われており、各公共施設駐車場などに高く積まれた大量の雪がきれいに取り除かれました。

緊急時における輸送業務で協力



2月16日、一般社団法人十勝地区トラック協会（沢本輝之会長）の木田将実副会長、奥野一男専務理事、城地和彦課長の3人が来町し、『緊急時における輸送業務に関する協定』の調印式を行いました。

宮口町長は「海を持ち、津波被害等が想定される本町では、このような協定を結ぶことは大変心強いです」と感謝の言葉をのべました。

この協定は、町内において、地震、津波、風水害その他の異常な自然現象または大規模な災害、その他大規模な事故等により生じる災害が発生し、または発生する恐れがある場合に相互に協力して物資の輸送業務を迅速かつ円滑に実施することを目的とするものです。

第11回豊寿大学・生涯教室学習発表会



2月20日、える夢館で、『第11回豊寿大学・生涯教室学習発表会（舞台発表）』が開催されました。

参加者全員による町歌の合唱で始まり、器楽にカラオケ、ダンス、舞踊など豊寿大学8科、7生涯教室の生徒らが日ごろの練習の成果をいかに発揮しました。

また、豊頃中学校吹奏楽部による演奏や、える夢キッズによる和太鼓演奏が行われたほか、はるにれ通りギャラリーでは、写真や俳句などの展示のほか、チャリティバザーなどが行われ、子どもからお年寄りまで世代を超えて楽しんでいました。



広報とよころ
はるにれは見ていた

社協だより

役場だより

広報とよころ
はるにれは見ていた

社協だより

役場だより

